

建設通信新聞

気

元

注目企業

会社概要

- ▽創業 1988年6月13日
- ▽本社 東京都渋谷区笹塚2-21-12
- ▽支店 九州(福岡市南区向野)2-3
- ▽営業所 大阪府吹田市広芝町8-12
- ▽名古屋市中村区名駅3-23-6
- ▽仙台市青葉区中央4-10-14
- ▽関連会社 北海道システム企画、東

京システム企画など多数
 売上高 関連会社分までを含めて10億円(本体は5億円)

日本システム企画(株)

配管を赤錆劣化から守り40年以上も保護・延命するNMR技術で、販売・施工実績を伸ばしている。熊野活行社長



社長
熊野 活行氏

は化学の専門家で、最初に入社した大手印刷会社で、ある特許を取得して以来、次々と新しい商品を企画開発してきた。その後、この日本システム企画を設立して、業界で唯一の配管更生装置「NMRパイプテクト」の販売・施工に乗り出した。技術応用については、「これからの研究によっては、ノーベル賞も夢ではない」と理論構築による装置という。

イギリスでは、大病院など5件の物件に同装置を導入することができた。今後は、多数の管理物件に拡大が可能だといふ。

日本では、最初は大学関係から始めた。給水・空調管の赤錆防止に向けて、これからは、マンション、オフィスビル、病院などをターゲットにしている。この、NMR工法は、赤錆を黒錆に変えるシステムである。「これから、イギリス、ドイツ、フランスなどで開かれた環境機器展などに

出展して、大きな評価を「雷放電を管内でできないか」というものだった。

黒錆化で断水せず配管更生

NMRパイプテクト「きるもので、これによは、管径最大2尺までの、断水することなく配管に装置することが、管更生を可能にする」と

4年後株式上場 売上40億めざす

NMRとは、核磁気共鳴現象を装置化したもので、たとえば水素の原子核は、N極とS極に分かれている。これに特定のマイクロ波をあたえると、原子核の磁極が共鳴を起し、回転運動が始まる。この現象を応用した技術である。

この技術をさらに開発を進めて、ある基準に達することができれば、それこそノーベル賞ものだというのが、熊野社長の言葉だ。

配管の寿命は建物の寿命よりも短い。この建物寿命に配管寿命をあわせることが可能であり、そのための需要が始まっている。

4年後の株式上場をめざしている。売り上げ40億円を見込む。